

## 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課  
担当課長名： 徳山 日出男

事業名 地域高規格道路 <small>しんやまなしかんじょうどうろ</small> 新山梨環状道路 主要地方道 <small>にらさき</small> 韮崎南アルプス中央線 <small>たとみ たまほ</small> 田富・玉穂工区	事業区分	地方道	事業主体	山梨県	
起終点 山梨県中央市山之神～中央市極楽寺	延長			3.9 km	
事業概要 新山梨環状道路は、甲府市内の慢性的な交通渋滞を解消する、甲府都市圏を取り囲む環状道路であり、地域高規格道路に指定されている。このうち南部区間は、甲府圏域を分断している富士川を渡河し、中部横断自動車道南アルプスICと中央自動車道甲府南ICとを結ぶ重要区間である。					
H10年度事業化	H7年度都市計画決定	H10年度用地着手	H10年度工事着手		
全体事業費	380億円	事業進捗率	94.0%	供用済延長	0.0km
計画交通量	33,100台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.8 (残事業) 74.9	総費用 (残事業)/ (事業全体) 22/438億円 (事業費) : 18/434億円 (維持管理費) : 4.0/4.0億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 1657/1657億円 (走行時間短縮便益) : 1494/1494億円 (走行費用減少便益) : 108/108億円 (交通事故減少便益) : 55/55億円	基準年 平成19年	
事業の効果等 甲府市内に集中する交通の分散導入等通過交通を迂回させるバイパスの役割を果たし、甲府市街地の交通渋滞の緩和や都市圏の均衡ある発展を促進します。					
関係する地方公共団体等の意見 新山梨環状道路整備促進期成同盟会（甲府市、山梨市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、中央市、昭和町他）より一層の整備促進の要望を受ける。（平成19年8月24日）					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 H18.12.20 西関東連絡道路の甲府山梨道路（山梨市万力から甲府市桜井町間）供用開始。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在、高架橋下部・上部工事完了。残事業は側道改良・舗装・標識等安全施設設置等。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成19年度までに、用地取得は全て完了しており、今後も効率的な事業執行に努め、平成20年度の完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等 高機能舗装等の施工箇所の厳選及び側道の舗装種別を区域毎に設定する等、コスト削減を行った。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図 					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。